

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学部
科目名称 [英語名称]	中等教科教育法・農業 [Teaching Methodology for Agriculture of Secondary Education]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	410701	授業形態	講義	単位数	4	配当学年	3年次
教員氏名	岩田 賢士			学位授与の方針 との関連	DP1(1)(2)・2(1)・3(1)(4)		
授業概要	<p>本授業の目的は、高等学校農業教員を目指す学生に対して、農業教員としての資質や農業教育に関する知識・技術・態度等の育成するものである。そのために、高等学校(教科「農業」)教員として35年間(内11年間管理職)、特別支援学校教員1年間の中で培った教育経験を生かして指導・支援したい。この目的を達成するために次の様な目標を設定し実践していく。</p> <p>1)農業教員として必要な資質(特に人間性)を涵養する 2)農業教育に関する知識・技術が活用できる 3)学習指導要領を理解し、実践できる 4)年間指導計画・学習指導案・シラバス等が作成できる 5)学習指導案に沿った模擬授業ができる。</p> <p>などであり、本授業を通して教員としての資質等を身に付けさせるものである。</p>						
関連する科目	学科の各専門科目並びに教職概論・教育の方向と技術等との関連性が強いので、しっかりと学習すること。						
授業の進め方と方法	<p>※以下の様な授業方法を組み合わせる授業を展開していく。</p> <p>○一斉授業……各講義毎に授業資料を作成し、それを活用して授業を進め、必要に応じてディスカス。 ○ワークショップ……課題を提示してグループ活動を行う。(グループ討議・発表・意見交換) ○プレゼンテーション……夏休みの課題として、各人プレゼンテーションを作成し、それを発表する。 ○学習指導案作成……数名一組のグループを作り、協力して、年間指導計画→授業計画→単元計画→学習指導案→板書計画、そしてシラバスを作成する。 ○模擬授業の実践……3人一組で作成した学習指導案を元に模擬授業の実施(板書計画は各人が作成)</p>						
授業計画	<p>(前期) 1 農業高校が求めている教師像 2 農業教育の歴史と農業教科教育法の意義 3 全国農業高校の概要 4 教育課題と農業教育 5 農業高校の組織と運営 6 農業高校の教育目標と教育課程の編成 7 教育に関する法規について 8 教育課程行政における学習指導要領について 9 学習指導要領Ⅰ 総則 理念と概要 10 学習指導要領Ⅱ 農業に関すること 11 学習指導要領解説 農業編 12 農業クラブとプロジェクト学習法 13 農業教科指導法Ⅰ 座学と実験実習 14 農業教科指導法Ⅱ 農場管理運営と会計「総合実習との関連を考える」 15 農業教科指導法Ⅲ 各学校の教育課程と農業教育の実践例「各学校のHPと教育課程から読み解く」</p> <p>(後期) 16 農業教科指導法Ⅳ 作製プレゼンテーションの発表1 17 農業教科指導法Ⅳ 作製プレゼンテーションの発表2 18 年間行事計画表の作成 19 年間行事計画作成Ⅰ 年間学校行事計画の作成 20 年間行事計画作成Ⅱ 年間学校行事から見えてくる授業実施時間 21 年間授業計画作成Ⅰ 月別計画作成 22 年間授業計画作成Ⅱ 月別計画を基本に年間授業計画の作成 23 単元計画作成Ⅰ 単元の選択と評価規準の設定 24 単元計画作成Ⅱ 単元計画全体の作成</p>						
授業の到達目標	<p>農業教育の概要(全体像)を理解し、教員としての資質を醸成する。そのために、</p> <p>1)農業教育と教育法規の関係を理解できる。 2)高等学校学習指導要領について理解できる。 3)農業高校と農業教育の具体的な内容が理解できる。 4)年間授業計画・単元計画・学習指導案・シラバス等の作成と模擬授業の実践ができる。 5)教員としての規範意識・倫理観を育む。 のような目標を持って授業を実践する。</p>						
授業時間外の学修	<p>・各講義の内容を補完するために講義中に配布した参考資料を使って復習を行う。(30時間) ・課題レポートの提出を求めると、しっかりと調べ学習を行い自分の意見をまとめる。(30時間) ・科目に関する課題を見つけ、書籍・インターネットを活用して解決する。関連する書物を読む。(30時間) ・夏休み課題・模擬授業の準備や練習(30時間) ※この科目は、4単位なので講義時間以外に、自分で120時間以上の学習を行うこと。</p>						
課題に対するフィードバック	<p>1)毎回講義後にレポートを出し提出させる。そのレポートを採点し、返還する。 ※レポートは、講義翌週の火曜日までに出す。 2)テストを実施し、それを返還する。 3)提出レポートに教員への要望・質問欄を作り、そこに書かれていることに回答する 4)個人的な課題等については、時間外に個別対応する。 ※以上の様な取り組みのまとめとして、ポートフォリオを作成させる。</p>	評価方法	<p>★この講義に関しては、4/5以上の出席をすること。</p> <p>1 平常点……授業中の態度など取組状況 (20点) 2 レポート点……毎回提出レポートを提出 (30点) 3 テスト点……テスト(50点:小テストや課題レポート・ポートフォリオを含む) ※場合によっては、期末テストをレポートに代えることがある。</p>				
テキスト	・各講義毎に講義資料を作成し、それを配付する。 ・学習指導要領並びに学習指導要領解説						
参考書	文部科学省「高等学校学習指導要領」総則・解説 厚沢留次郎「農業教科教育法」農業図書 農業図書「教育六法」三省堂						
備考							